

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年12月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300282
法人名	有限会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム だんだん
所在地	鹿児島県鹿屋市西大手町11番11号 (電話) 0994-36-8678
自己評価作成日	令和4年11月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年12月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

立地場所として商店街に隣接しており地域の行事の情報収集がしやすく行事の見学や参加がしやすい環境だと言えます。利用者様には季節ごとの花の見学などおこない、ホーム内も季節を感じれるような環境作りに取り組んでいます。利用者様とコミュニケーションを図り1人1人の要望に耳を傾け笑顔を引き出せるような支援を行っていきたいと考えています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・理念の「地域とのふれあいを大切に…」を基に、楽しい生活が送れるようなケアを提供しコロナ禍の中で工夫している。地域イベントはコロナ禍で自粛しているが、水神祭りの見物に行ったり、クリスマス会は学園の子供と窓越しで楽しみ、町内会の役員や回覧板等で地域情報を得て協力し合い交流を深めている。
- ・災害対策はコロナ禍で年2回夜間想定で自主訓練を行っている。緊急連絡網や訓練記録がある。近隣住民の参加は自粛している。オール電化である。備蓄は水・米・缶詰・ビスケット・インスタント食品等が3日分ある。カセットコンロもある。避難場所はホーム横の広場である。
- ・事業所で「本人の意思決定」について研修会を実施し、理念に沿って人権・人格を尊重しプライバシーの保護について取り組んでいる。
- ・チェック表で排泄のリズムを把握し、排泄用品を含め、個々に応じた支援をしている。自立を目指し、基本はトイレでの排泄である。リハビリパンツやパットの使用量も少なくなり家族からも喜ばれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	業務前の申し送り時に掲示した理念を職員で唱和し理念の確認、認識を深めている。	開設当初からの理念を重要事項説明書に掲載し、ホールや事務所に掲示し、申し送りで唱和して、日々の支援に活かすようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らされ続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており地域の行事開催の情報収集、参加について検討し状況に応じた対応を行っている。	町内会に加入し、地域イベントはコロナ禍で自粛している。水神祭りの見物に行ったり、クリスマス会は学園の子供と窓越しで楽しみ、町内会の役員や回覧板等で地域情報を得て協力し合い交流を深めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポートワーカーに入会しており相談窓口としてのオレンジのまどの表示をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナ感染症予防対策としての文書での開催時は電話でご意見伺いを行っている。委員の増員など検討しているが形になっておらず課題が残っている状況	書面会議を定期的に行っている。ホームの状況を書面にして報告し、委員宅のポストに入れて後で意見を貰っている。昨年12月のみ会議を開催した。委員を今後増やしていくように検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村からいただくメールを確認し情報の確認をおこなっている。メールでの報告が多くなってきているが必要時は市役所に出向き手続きなど行っている。	市担当者とは運営推進会議資料等を持参したり、困難事例の相談・報告等で窓口に行き、情報をもらい連携を取っている。福祉担当者との連携もできている。市のリモート研修を受講している	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所で身体拘束委員会の検討会を実施し各事業所で身体拘束に対して評価をおこなうことを実施した。定期的に行い理解の再確認や定着を図っていきたい。	身体拘束委員会を3ヶ月毎に本部で開催し、事業所にて職員とミーティングをして議題を共有している。スピーチロックや行動制限等、拘束のないケアに取り組んでいる。玄関の施錠は昼間はしていない。外出する利用者は散歩に切り替えて付き添っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し高齢者虐待防止の学びや再認識の場を設け事業所内研修や会議で職員間の意思の共有を図り虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内研修にて権利擁護について学びの機会は設けている。自立支援については日常的なケアの検討の中では職員間で検討出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時に重要事項説明書や入居契約について説明を行い理解を求めている。改定があれば報告をおこない説明し同意を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様の要望など職員で共有し必要時にご家族にも伝え共有を図って対応している。ご家族からの要望については検討し可能な限り応えていきたい。</p>	<p>利用者には日々の生活の中でゆっくりくつろいでいる時や入浴中に思いや意見を聞いている。家族にはガラス越しの面会時や月1回の便りで写真や手紙を添えて送り、後日に電話やラインで要望を聞き、職員で話し合い、運営に活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常的に職員からの意見を聞き、職員間で検討を行い決定していくかたちで行っている。</p>	<p>グループホームでの会議を毎月開催し言いやすい雰囲気の中で、要望や意見を出し合い利用者の支援等に活かしている。支援についてや物品購入の希望があり、即対応している。個人的相談も受けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の要望は管理者面談にて聞く機会を設け代表者に報告するかたちが出来ている。定期的に状況報告は行われている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内研修は定期で行い法人外での研修への参加も勧めている。認知症ケアや身体介護については日常的に検討し状況にあった対応が出来るようスキルアップを目指す。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在はコロナ禍により交流機会を設けることは難しいがチャンスがあれば交流の機会を作りサービス向上につなげていきたい</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	利用者様の生活歴や身体状況の情報を職員間で共有しいい関係性作りに活かしている		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入居契約などの説明の場でご家族の不安や要望など伺うよう努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	入居説明の場でグループホームとして何が出来るかなどの説明を行い要望についても可能な限り検討する。医療との連携など他職種との連携についてなどの説明も行っている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員は日常的に利用者様とコミュニケーションを図っており共同生活の中での作業を共に行う機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には入居説明の際に情報を共有し連携を取りながらご本人を支えていきたいことをお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍により通常の面会は難しいがガラス越しで面会をお願いしている。墓参りや商店街の散歩など感染症対策をおこないながら継続している。	感染予防のため、家族はガラス越しでの面会をしたり、ラインで交信している。受診帰りにドライブで以前の思い出の場所に行ったり、コスモスや季節の花を見物に行き、スナップ写真を家族に送っている。学園から毎年演奏に来てもらっている。馴染みの関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の相性や関係性に配慮し席の配置を考えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時にはなにかあれば相談をとご家族に伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と日常的にコミュニケーションを図り希望や要望などを聞き、本人の思いなど職員間で共有し現実出来るよう検討を行う。	日々の会話や散歩の時・ホールでくつろいでいる時に、食べたい物等、本人の思いや意向を把握している。入浴中は会話がはずみ日頃聞けないこと等も聞いている。意思疎通が難しい場合は表情やしぐさから推し量り、家族からの情報から職員で話し合い、本人の思いに添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や変化が起きた場合にはカンファレンスをおこない職員間で情報の共有している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で発見や変化が見られた時は記録や申し送りで情報の共有をおこない日々のケアに活かしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時にはご家族からの情報や以前の生活環境での状況などを取り入れ作成している。更新時期には職員に現在の状況などの意見を聞き必要があるれば変更している。	本人・家族の要望や思いを聞き、医師の意見を基に職員で検討し、現状に即したプランとなっている。モニタリングは2ヶ月毎に、見直しは6ヶ月または必要時に行って、よりよく暮らせるための課題と向き合っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の支援経過用紙とは別に気づきや周知したいことなどを書ける用紙に記録している。それをケアに活かしたり必要時は検討を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の要望など聞きながら状況に応じて臨機応変に行事への参加や外出支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会に加入し行事などの情報もいただきやすい環境といえる。状況を見ながら出来るだけ参加していきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>現在、ご家族による病院受診、訪問診療による定期受診を全員が受けられている。体調変化や訪問診療時には訪問看護とも連携をとり関係性を築いている。</p>	<p>入居時に希望を聞いてかかりつけ医の訪問診療を2週間に1回、他科受診は家族の協力で行われている。ホームの看護師による健康チェックや週1回の訪問看護による健康管理、24時間医療連携体制があり適切な医療を受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員の勤務時にはすぐに報告して対応している。不在時には訪問看護に相談し必要な対応を行う体制がとれている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には速やかに情報提供を行っている。退院時には現在の状態確認をおこない、病院からの情報提供をいただき今後のケアについての検討に活かしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期において今後の方向性について意見をお伺いしながら医療やご家族との連携を図りながら施設で出来る範囲のケアをスタッフ間で共有し対応している。</p>	<p>契約時に「重度化や終末期に向けた方針」の指針があり本人や家族に説明し同意書をもらっている。状況変化に伴い段階的に家族と話し合いホームとして医療が必要になるまでの、最大限の支援を行い、入院や施設の説明を行い、今後の対応をしている。将来的には看取り支援も検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時の対応、応急手当や連絡の手順はマニュアル作成をおこない日常的に確認できる場所に置いている。応急手当の研修への参加。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難誘導マニュアル訓練を行い避難場所や誘導の手順の確認を行っている。コロナ禍の状況をみながら訓練時には消防隊や消防団、近隣施設の協力をいただき実施していく。</p>	<p>例年は消防署指導の下に訓練を年1回計画していたが、コロナ禍で年2回夜間想定で自主訓練を行っている。緊急連絡網や訓練記録がある。近隣住民の参加は自粛している。オール電化である。備蓄は水・米・缶詰・ビスケット・インスタント食品等が3日分ある。カセットコンロもある。避難場所はホーム横の広場である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員間で利用者様の性格や日頃の要望など共有し本人1人1人が穏やかに暮らしていけるよう対応することを目的としている。</p>	<p>事業所で「本人の意思決定」について研修会を実施し、理念に沿って人権・人格を尊重しプライバシーの保護について取り組んでいる。入浴時や排泄時・入室時の声掛けに配慮し、顔色や表情にも気を付けている。申し送りは事務所で行い、呼称は「さん」づけである。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活の会話の中で本人がその都度選択できる声掛けを行い選択していただくことで自己決定に繋げている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人のペースや好みを把握し毎日の日課や休息をとってもらいながら無理のない生活が送れるよう支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>整髪や爪切りなどの身だしなみに配慮している。化粧や髪染めなど個別のおしゃれには希望をききながら支援していく</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>料理がしたい利用者様には食事の盛り付けやお好み焼きやたこ焼きなど職員と共に行っている。トレイ拭きやおしぼり準備など日常的に行えている。</p>	<p>利用者の嗜好を聞いて献立を作成し個々の食形態に応じて調理している。お好み焼きやタコ焼き等を一緒に作っている。行事食は母体から会席膳が来て喜ばれている。お盆や皿拭き等を力量に応じて一緒にしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者様1人1人の好き嫌いや食事形態など職員間で共有しバランスよく食事できるよう努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後それぞれの利用者様に合わせた形で口腔ケアを行っている。夜間は入れ歯洗浄剤で消毒を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>1人1人の身体状況に合わせたリハビリパンツやパッドの選定を行っている。失禁のある利用者様は出来るだけトイレで排泄できるよう排泄パターンを把握し誘導を行っている。</p>	<p>チェック表で排泄のリズムを把握し、排泄用品を含め、個々に応じた支援をしている。自立を目指し、基本はトイレでの排泄である。リハビリパンツやパッドの使用量も少なくなり家族からも喜ばれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者それぞれの排泄パターンを把握し医師に相談、服薬調整を行うとともに水分量の把握、排泄に繋がる飲食物の提供を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一般浴槽と機械浴がありそれぞれの利用者様のADLにあった浴槽を選定している。気持ちよく入浴していただけるよう声掛けの工夫を行っている。	入浴は午前中に行っている。機械浴があり重症化しても対応できる。入浴を嫌がる場合は声かけのしかたを変えたり時間をずらしたりして支援している。無理強いはしないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの利用者様の要望や状態を見ながら居室での休憩時間をとったり夜間は本人のタイミングで休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の変更や追加など記録や申し送りにて周知している。毎月の職員会議でも報告し身体状況や病状に対する注意点など検討している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人1人の好きな事やしたい事を日頃の関わりから引き出し個別化した支援を行っている。墓参り、散歩、ドライブ等		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>現在はまだコロナ禍にて制限はあるもののソーシャルディスタンスを保てる状況でのコスモス見学、墓参り、自宅の確認、近くの商店街の散歩を行っている。</p>	<p>年間行事計画があるがコロナ禍のため、外出は自粛している。敷地内や商店街の散歩は行っている。受診後のドライブや少人数のドライブで車から降りずにコスモス見物や墓参り・自宅の確認等、児童館も外から見たり花壇の手入れをして、気分転換を図っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>トラブル予防の為にも基本的に個人での金銭の所持はやめていただく事です承を得ているが強い要望がある場合はご家族にトラブルのリスクなど理解していただいたうえで所持を容認している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の要望がある場合は電話をかける対応をしている。現在は手紙のやり取りは行えていない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールなどは温度計、湿度計を設置し温度や湿度の調整を行っている。季節に合わせた飾り付けをすることで季節を感じていただけるよう対応している。</p>	<p>ホールは広く天井が吹き抜けになっている。エアコンでの温度調整やソファやテレビがあり、対面オープンキッチンで対話ができホールで過ごすことが多い。お花や飾りつけで季節感を味わえる工夫をしている。利用者にとって、居心地のよい快適な空間環境になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事などをおこなうテーブル席の他にソファや畳部屋で過ごしていただけるよう環境作りを行っている。席の配置は相性などを考えて決めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>それぞれの居室には本人の作品やご家屋の写真など掲示してご自分の部屋だと認識していただけるよう努めている。</p>	<p>ベッド・クローゼット・洗面台・箆笥、エアコンを設置している。個々にテーブルや衣装箱・寝具・化粧品等、使い慣れたものを持ち込み、色紙や写真を飾って居心地よく暮らしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホールからトイレに行かれる時など動線を確認できるような席を決めている。カレンダーや時計を見やすい位置に配置して確認できるように工夫している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		<input checked="" type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		<input checked="" type="radio"/>	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input checked="" type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		<input checked="" type="radio"/>	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない